



茨城の土木遺産

石岡第一発電所 (北茨城市)

明治44年(1911年)竣工

大北川の溪谷沿いに建設された水路式発電所。日立鉱山の近代化に伴う電力需要の増加に対応するため、当時、日立鉱山の工作課長であった小平浪平氏が発電や送電計画に携わり、宮長平作氏が構造物の設計や工事を担当した。構造物の構築は、レンガ造りが主流であった時代に、黎明期の鉄筋コンクリート技術を積極的に導入し、発電所本館や導水路橋、サージタンクなどを建設。我が国最初の本格的な鉄筋コンクリート造りの発電所であり、平成22年、近代化遺産として重要文化財に指定された。

△主な内容▽

- ▼ 関東地方整備局、県と意見交換会を開催
- ▼ 中川原常任理事が旭日双光章を受章
- ▼ 鳥インフルエンザ防疫活動に尽力
- ▼ 時間外労働の上限規制で勉強会

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局